

会 告

令和2年度定時社員総会（令和2年6月16日～28日電磁的方法による書面議決）の議を経て、下記について承認されました。

1. 平成31年度収支決算
2. 令和2年度収支予算
3. 第65回日本老年医学会学術集会会長 秋下雅弘氏（東京大学医学部附属病院老年病科 教授）

令和元年度事業報告

I. 庶務の概要

1. 会員の異動状況(令和2年3月31日現在)

1) 会員の異動

	前年度末	入会	退会	物故者	現在数
会員数	6,312	470	390	18	6,374

(正会員・名誉会員・特別会員)

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
名誉会員	38	1	-	-	39
特別会員	98	26	12	-	112
賛助会員	19	-	1	-	18

2) 役員等の異動

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
理事	20	1	1	-	20
監事	3	-	-	-	3
幹事	10	-	-	-	10
代議員	613	106	90	1	628
事務職員	4	0	0	-	4

3) 物故会員(敬称略)

特別会員	高倉 公朋				
代議員	安部 智				
正会員	大多和俊行	緒方めぐみ	小川 真	米今 義夫	
	佐藤 由利	志賀 周郎	鈴木 道生	戸谷 完二	
	中原 啓一	樋口 幸司	福田 弘	古名 丈人	
	村松 榮幸	安田 兵衛	山田 昌夫	山本 章	

(連絡のあった方のみ)

2. 会議の事項

1. 定時社員総会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター展示棟

2. 理事会

2019年6月5日 宮城県・仙台国際センター展示棟
 2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟
 2019年6月7日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年10月23日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年11月1日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年11月12日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2020年1月25日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2020年3月2日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

3. あり方委員会

2019年6月5日 宮城県・仙台国際センター会議棟
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

1) あり方ワーキング

2019年4月27日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web
 2019年8月23日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web
 2019年12月3日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web
 2020年3月6日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web

4. 財務委員会

2019年6月5日 宮城県・仙台国際センター会議棟
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

5. 雑誌編集委員会

2019年4月24日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web
 2019年6月5日 宮城県・仙台国際センター会議棟
 2019年10月23日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

6. GGI 編集委員会

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

7. 高齢者医療委員会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

1) 保険診療小委員会

2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

2) 認知症対策小委員

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

3) 在宅医療小委員会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3

4) ワクチン療法推進小委員会

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3

5) 骨折転倒対策小委員会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

6) 科学的介護検討小委員会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3

7) 高齢者がん診療小委員会

2019年11月27日 東京都・日本老年医学会事務所

8. 高齢者医療研修委員会:(研修認定審査小委員会と合同)

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟

9. 学術委員会

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3

1) 高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会

2019年11月24日 日本糖尿病学会事務局
 2020年2月2日 日本糖尿病学会事務局

2) 認知・ADL一妥当性検証 WG

2019年6月6日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3

3) 高齢者の安全な薬物療法が「トライン」2020 作成のための WG

2019年9月13日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web
 2020年1月30日 東京都・日本老年医学会事務所及び Web

4) CGA ツール選定・最適化 WG

2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

10. 教育委員会

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

11. 専門医制度委員会:

(合同委員会)

2019年6月7日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 7-1,2
 2020年1月25日 東京都・AP東京八重洲

1) 新専門医制度準小委員会

2) 専門医試験作成・認定小委員会

2019年6月8日 宮城県・仙台国際センター会議棟 1階 小会議室 3
 2019年4月15日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り試験合格
 2020年1月15日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

12. 顕彰委員会

2019年6月7日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

13. 優秀論文賞選考委員会

2019年12月25日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年2月17日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

14. 老化および老年医学研究助成選考委員会

2020年1月14日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

15. 倫理委員会

2019年6月6日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

1) エンドオブライフケアに関する小委員会

2019年6月7日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

16. 利益相反委員会

2019年6月5日宮城県・仙台国際センター会議棟3階 小会議室6-1,2

17. 学術プログラム委員会

2019年6月5日宮城県・仙台国際センター会議棟3階 小会議室6-1,2

2020年1月25日東京都・AP東京八重洲

2020年2月16日東京都・日本老年医学会事務所及び Web

18. 国際交流委員会

2019年6月5日宮城県・仙台国際センター会議棟3階 小会議室7-1,2

2020年1月25日東京都・AP東京八重洲

19. 国内交流委員会

2019年4月5日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年4月15日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年4月16日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年5月10日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年5月17日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年5月22日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年6月7日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

2019年6月28日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年8月13日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年8月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年11月8日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年11月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年12月10日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2019年12月19日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年1月7日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年1月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年2月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年3月12日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2020年3月25日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

20. 広報委員会

2019年6月6日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

2020年1月25日東京都・AP東京八重洲

21. 男女共同参画委員会(名称変更)ダイバーシティ推進委員会

2020年1月25日東京都・AP東京八重洲

22. 用語委員会

2019年6月6日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

24. YIA 選考委員会

2019年6月6日宮城県・仙台国際センター会議棟1階 小会議室3

2020年1月16日日本老年医学会事務所より持回り

II. 事業の状況

1. 学術集会等の開催(定款第6条1項)

1) 日本老年医学会年次学術集会

第61回日本老年医学会学術集会

会期:2019年6月6日(木)~8日(土)

会長:荒井啓行(東北大学加齢医学研究所 老年医学分野教授)

会場:仙台国際センター・東北大学百周年記念会館

参加者数:1,886名

学会テーマ:老年医学研究のフロンティア

—超高齢社会への処方箋を探る—

指定演題数:会長講演1題、招聘講演2題、特別講演3題、
尼子賞受賞講演1題、教育講演13題、ジョイントシンポジウム5
題、シンポジウム11題、特別提言1題、学会事業報告1題、特
別提言1題、老年医学ジャーナルレビュー2019、新専門医制度の
専門研修プログラムに関する説明会、プレス発表2題、第2回日
本老年医学会老化および老年医学研究助成受賞者講演3
題、第1回日本老年医学会 YIA 受賞者講演3題、認知症の
実践セミナー2題、ランチョンセミナー19題、高齢者医療研修会、市
民公開講座3題

一般演題数:344題

2) 日本老年医学会地方学術集会

第30回北海道地方会

会期:2019.6.1.

会場:札幌医科大学記念ホール

会長:東出俊之(さっぽろ慈啓会慈啓会病院・院長)

発表演題:11題 参加者:71名

教育講演:「高齢者のリウマチ・膠原病診療の最近の話題」

高橋裕樹(札幌医科大学医学部免疫・リウマチ内科学・教授)

第30回東北地方会

会期:2019.10.5.

会場:山形大学医学部 大講堂

会長:高須直樹(山形市立病院済生館 外科・主任医長)

発表演題:21題 参加者47名

特別講演:「高齢者糖尿病の診断から治療へ」

山田祐一郎(秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代
謝・老年内科学)

教育講演:「認知症克服に向けた脳科学研究と先制医療構
想」荒井啓行(東北大学加齢医学研究所 老年医学分野)

教育講演:「健康長寿を目指す老年医学 -日本老年医学会
の役割-」神崎恒一(杏林大学医学部 高齢医学)

ランチョンセミナー:「女性で最も罹患率の高い乳癌の現状と新規
治療法の開発」石田孝宣(東北大学大学院医学系研究科外
科病態学講座 乳腺・内分泌外科学分野)

海外学会報告:「International Conference on Frailty and
Sarcopenia Research 2019 (ICFSR2019) 参加報告」

富田尚希(東北大学病院 加齢・老年病科)

第70回関東甲信越地方会

会期:2019.8.31.

会場:東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂

会長:吉田博(東京慈恵会医科大学臨床検査医学・大学院代
謝栄養内科学)

発表演題:22題 参加者:211名

特別講演(スポンサードセミナー):「最新エビデンスに基づく脂質管
理のすすめ」横手幸太郎(千葉大学大学院医学研究院 内分
泌代謝・血液・老年内科学)

教育講演:「高齢者の心房細動診療について」山根禎一
(東京慈恵会医科大学 内科学講座・循環器内科)

ランチョンセミナー:「酸化ストレスと認知症」布村明彦(東京慈恵会医

科大学 精神医学講座)

第71回 関東甲信越地方会(書面開催)

会期:2020.3.7.

会場:日本医科大学教育棟

会長:安武正弘

(日本医科大学大学院総合医療・健康科学分野)

発表演題:36題

特別講演:「東京都における高齢者救急の現状と問題点」

猪口正孝(東京都医師会副会長)

教育講演:「高齢者の口腔疾患とオーラルケア」二川 浩樹(広島大学歯学部教授)

ランチョンセミナー:「GERD と慢性便秘症のオーバーラップ、その治療方策」岩切 勝彦(日本医科大学消化器肝臓内科教授)

第30回東海地方会

会期:2019.10.5.

会場:名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階 講堂

会長:三浦 久幸(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長)

発表演題:42題参加者:221名

テーマ:「これからの人生 100年時代における高齢者に寄り添う医療」

特別講演:「認知症診療における患者中心の医療とは」栗田 圭一(東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究部長)

特別講演:「成熟社会の課題ー現代の高齢者は幸せかー」

演者:井口 昭久(愛知淑徳大学 教授)

シンポジウム:「人生 100年時代におけるアド・ハンス・ケア・プランニングの意義」

1.「国内外の ACP の動向」

千田 一嘉(国立長寿医療研究センター 臨床研究企画室長)

2.「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援がイラインと ACP ～特に法的側面から～」

稲葉 一人(中京大学 法務総合教育研究機構 教授)

3.「広島県地対協における ACP 普及の取り組み」本家好文(広島県健康福祉局がん対策課 緩和ケア推進監)

4.「ACP が実践できる人材育成と地域づくり～愛知県の取り組みからの報告～」後藤 友子(国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部 研究員)

第30回北陸地方会

会期:2019.10.26.

会場:富山大学杉谷キャンパス 富山大学附属病院2F 総合臨床教育センター 多目的研修室

会長:絹川 弘一郎

(富山大学第二内科・循環器内科学・教授)

発表演題:7題 参加者:37名

特別講演:「循環器疾患における最近のトピックスを「高齢者」から考える」北岡 裕章(高知大学医学部 老年病・循環器内科学 教授)

市民公開講座:「人生 100年時代の女性の健康」種部 恭子(医療法人社団藤聖会 女性クリニック We 富山 代表)

第30回近畿地方会

会期:2019.11.16.

会場:京都府立医科大学 基礎医学学舎 1階 第一講義室、第二講義室

会長:水野 敏樹

(京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学・教授)

発表演題:39題参加者:174名

テーマ:「地域で支える健康長寿」

特別講演:「認知症地域コホートを起点とする予防法開発の取り組み」山田正仁(金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(脳神経内科学))

シンポジウム:「高齢者医療の地域連携を考える」

1.「当院における脳卒中の医療・介護連携についてー回復期リハビリ棟を中心にー」磯野理(公益社団法人 信和会 京都市民連あすかい病院 神経内科・リハビリテーション科)

2.「認知症ケアの多職種連携の重要性:開業医の視点から」杉本 英造(杉本医院)

3.「多職種と地域で支える難病支援は、地域包括ケアの課題である」辻輝之(医療法人 七生会 辻医院)

ランチョンセミナー:「高齢発症でんかんー焦点意識減損発作ー」

赤松直樹(国際医療福祉大学医学部 神経内科/福岡山王病院 脳・神経機能センター 神経内科)

市民公開講座

テーマ:「地域で支える健康長寿」

1.「ロコモ予防～運動器を守ろう～」

北條達也(同志社大学 スポーツ健康科学部)

2.「リハビリテーションで築く明るい長寿社会」

垣田清人(京都大原記念病院)

3.「脳卒中の予防と治療～激動の時代を迎えて～」

今井啓輔(京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科)

第31回中国地方会

会期:2019.10.5.

会場:岡山大学医学部臨床講義棟

会長:谷本 安(国立病院機構南岡山医療センター・院長)

発表演題:20題参加者:113名

特別講演:「パーキンソン病治療の最前線ー薬物治療から iPS 細胞移植までー」

高橋良輔(京都大学医学研究科 臨床神経学)

ランチョンセミナー:「高齢者喘息の吸入療法」

堀口高彦(藤田医科大学医学部 呼吸器内科学II講座)

第31回四国地方会

会期:2020.2.23.

会場:リゾール松山

会長:大八木保政(愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座)

発表演題:17題参加者:100名

特別講演:「高齢者における心不全管理」山口修(愛媛大学大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

特別講演「アンチエイジング領域のトピックス ～認知機能低下と糖化ストレス～」伊賀瀬道也(愛媛大学大学院医学系研究科抗加齢医学(新田セラチン)講座)

ランチョンセミナー:「糖尿病患者の高血圧治療の注意点」高田康徳(愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学)

第30回九州地方会(書面開催)

会期:2020.3.7.

会場:長崎大学医学部 良順会館

会長:前村浩二(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学)

発表演題:28題

特別講演:「高齢者のフレイル・サルコペニアとその対策」小川純

人(東京大学大学院医学系研究科 加齢医学)

シンポジウム:「実臨床に役立つ高齢者薬物治療のエッセンス」

1.「高齢者高血圧治療のツボ」大石充(鹿児島大学大学院
医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

2.「高齢脳梗塞患者における出血を回避する抗血栓療法」
矢坂正弘(国立病院機構 九州医療センター 脳血管センター)

3.「高齢認知症患者の健康寿命を守る ～フレイルと認知症との
関連を含めて～」芹田巧(道ノ尾病院)

ランチセミナー:「多様化する糖尿病性腎症 ～その病態と治
療戦略～」西野友哉(長崎大学病院 腎臓内科)

3) 第13回老年医学サマーセミナー(医学部学生4年生～6年生、初期
研修医が参加対象)(定款第6条7項)

会期:2019.8.2(金)～3(土)

開催地:国立長寿医療研究センター

主催:日本老年医学会・国立長寿医療研究センター

参加者:12名

4) 高齢者医療研修会(定款第6条7項)

① 座学形式。

修了書発行を受けるには12項目・8時間の受講が必須

令和元年6月6日:仙台市で第61回学術集会主催(参加者101
名)

令和元年11月2日:東京で全日本病院協会と共催(参加者97
名)

② ワークショップ形式。

修了書発行を受けるには8時間の受講が必須

令和元年6月7日:仙台市で第61回学術集会主催(参加者95
名)

令和元年11月3日:東京で全日本病院協会と共催(参加者97
名)

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)

1. 学会誌「日本老年医学会雑誌」

1) 定期号 第56巻2号～4号及び第57巻1号 合計4冊を発行し
た。

2) Supplement 第61回学術集会講演抄録集として第56巻の
Supplementを5月に発行した。

2. 英文誌「Geriatrics and Gerontology International」(GGI)(正式略称
Geriatr Gerontol Int)

1) オンラインで Vol.19 Issue4～Issue13, Vol.20 Issue1～3 を発行し
た。

3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定(定款第6条3
項)

1) 老年病専門医の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第28回老年
病専門医試験を2019年10月20日東京都健康長寿医療センター
(東京都板橋区)において実施した。審議会において試験合格者を
決定し、専門医制度委員会、理事会の議を経て92名を認定した。

2) 指導医の委嘱

新・老年病専門医制度に対応した指導医の要件により提出された指
導医申請書類の審査を実施し、新たに10名を認定し委嘱した。

3) 教育施設の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出された認
定施設申請書類の審査を実施し、新たに1施設を認定した。

4) 2020年3月31日の時点で認定を受けた日から満5年を経る老年

病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定 老年
病専門医制度規則により提出された書類の審査を実施し、専門医
270名、指導医179名、認定施設28施設の更新を認定した。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

1) 第26回日本老年医学会優秀論文賞

日本老年医学会雑誌第55巻1号から4号(平成30年1月～10
月発行)に掲載された論文の中から選考し、岡部大地、町田征
己、光武誠吾の3名を日本老年医学会優秀論文賞受賞者とし
て令和元年6月7日の総会において顕彰した。

2) 第10回 Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞

GGI 誌 Volume18に掲載された論文の中から選考し、Tomoki
Tanaka, Yutaka Watanabe, Kenji Toyoshima の3名を Geriatrics &
Gerontology International 優秀論文賞受賞者として令和元年6月
7日の総会において顕彰した。

3) 「第4回日本老年医学会 老化および老年医学研究助成」の受賞
者を令和元年6月7日の総会において顕彰した。

「第5回日本老年医学会 老化および老年医学研究助成」の受賞
者の選考

令和2年1月25日の理事会により選考された会員:

杉本研、高山賢一、服部頼都

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を日本老年社会科学
会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、
日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力した。

2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International
Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協
力した。

6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

1) 各種委員会(あり方委員会、あり方WG、財務委員会、雑誌編集委
員会、GGI 編集委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知
症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、ワ
クチン療法推進小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討
小委員会、高齢者がん診療小委員会、高齢者医療研修委員会、研修
認定審査小委員会、研修会企画小委員会、学術委員会、フレイル・サル
コペニア対策小委員会、EWTOPIA75小委員会、高齢者糖尿病の治療向
上のための合同委員会、DASC8 妥当性検証WG、高齢者の安全な薬
物がトライン 2020 作成のためのWG、CGA ツール選定・最適化WG、教
育委員会、専門医制度委員会、新専門医制度準備小委員会、専門医
試験作成・認定小委員会、専門医資格・施設認定小委員会、顕彰委
員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考
委員会、倫理委員会、エンドオブライフに関する小委員会、利益相反委員
会、学術プログラム委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、広報委
員会 選挙管理委員会、ダイバーシティ推進委員会、用語委員会、YIA
選考委員会、老年症候群の観点から見た転倒予防とその限界に関
する検討WG)を開催し本会の目的を達成するため種々の検討が行わ
れ活動が行われた。

1-1 収支計算書 総括表

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

(単位:円)

Table 1-1: Summary of Income and Expense Statement. Columns include: 科目 (Item), 一般会計 (General Accounting), 特別会計 (Special Accounting), 特別会計 (Special Accounting), 特別会計 (Special Accounting), 特別会計 (Special Accounting), 特別会計 (Special Accounting), 合計 (Total). Rows include: 1. 事業活動収支の部 (Business Activity Income/Expense), 2. 基本財産運用収入 (Basic Asset Operation Income), 3. 公費収入 (Public Fee Income), 4. 会費収入 (Membership Fee Income), 5. 寄附収入 (Donation Income), 6. 公設施設収入 (Public Facility Income), 7. 学費収入 (Tuition Income), 8. 学費収入 (Tuition Income), 9. 学費収入 (Tuition Income), 10. 学費収入 (Tuition Income), 11. 学費収入 (Tuition Income), 12. 学費収入 (Tuition Income), 13. 学費収入 (Tuition Income), 14. 学費収入 (Tuition Income), 15. 学費収入 (Tuition Income), 16. 学費収入 (Tuition Income), 17. 学費収入 (Tuition Income), 18. 学費収入 (Tuition Income), 19. 学費収入 (Tuition Income), 20. 学費収入 (Tuition Income), 21. 学費収入 (Tuition Income), 22. 学費収入 (Tuition Income), 23. 学費収入 (Tuition Income), 24. 学費収入 (Tuition Income), 25. 学費収入 (Tuition Income), 26. 学費収入 (Tuition Income), 27. 学費収入 (Tuition Income), 28. 学費収入 (Tuition Income), 29. 学費収入 (Tuition Income), 30. 学費収入 (Tuition Income), 31. 学費収入 (Tuition Income), 32. 学費収入 (Tuition Income), 33. 学費収入 (Tuition Income), 34. 学費収入 (Tuition Income), 35. 学費収入 (Tuition Income), 36. 学費収入 (Tuition Income), 37. 学費収入 (Tuition Income), 38. 学費収入 (Tuition Income), 39. 学費収入 (Tuition Income), 40. 学費収入 (Tuition Income), 41. 学費収入 (Tuition Income), 42. 学費収入 (Tuition Income), 43. 学費収入 (Tuition Income), 44. 学費収入 (Tuition Income), 45. 学費収入 (Tuition Income), 46. 学費収入 (Tuition Income), 47. 学費収入 (Tuition Income), 48. 学費収入 (Tuition Income), 49. 学費収入 (Tuition Income), 50. 学費収入 (Tuition Income), 51. 学費収入 (Tuition Income), 52. 学費収入 (Tuition Income), 53. 学費収入 (Tuition Income), 54. 学費収入 (Tuition Income), 55. 学費収入 (Tuition Income), 56. 学費収入 (Tuition Income), 57. 学費収入 (Tuition Income), 58. 学費収入 (Tuition Income), 59. 学費収入 (Tuition Income), 60. 学費収入 (Tuition Income), 61. 学費収入 (Tuition Income), 62. 学費収入 (Tuition Income), 63. 学費収入 (Tuition Income), 64. 学費収入 (Tuition Income), 65. 学費収入 (Tuition Income), 66. 学費収入 (Tuition Income), 67. 学費収入 (Tuition Income), 68. 学費収入 (Tuition Income), 69. 学費収入 (Tuition Income), 70. 学費収入 (Tuition Income), 71. 学費収入 (Tuition Income), 72. 学費収入 (Tuition Income), 73. 学費収入 (Tuition Income), 74. 学費収入 (Tuition Income), 75. 学費収入 (Tuition Income), 76. 学費収入 (Tuition Income), 77. 学費収入 (Tuition Income), 78. 学費収入 (Tuition Income).

1-2 収支計算書 (一般会計)

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位:円)

Table 1-2: Income and Expense Statement (General Accounting). Columns include: 科目 (Item), 予算 (Budget), 決算 (Actual), 差異 (Difference), 備考 (Remarks). Rows include: 1. 事業活動収支の部 (Business Activity Income/Expense), 2. 基本財産運用収入 (Basic Asset Operation Income), 3. 公費収入 (Public Fee Income), 4. 会費収入 (Membership Fee Income), 5. 寄附収入 (Donation Income), 6. 公設施設収入 (Public Facility Income), 7. 学費収入 (Tuition Income), 8. 学費収入 (Tuition Income), 9. 学費収入 (Tuition Income), 10. 学費収入 (Tuition Income), 11. 学費収入 (Tuition Income), 12. 学費収入 (Tuition Income), 13. 学費収入 (Tuition Income), 14. 学費収入 (Tuition Income), 15. 学費収入 (Tuition Income), 16. 学費収入 (Tuition Income), 17. 学費収入 (Tuition Income), 18. 学費収入 (Tuition Income), 19. 学費収入 (Tuition Income), 20. 学費収入 (Tuition Income), 21. 学費収入 (Tuition Income), 22. 学費収入 (Tuition Income), 23. 学費収入 (Tuition Income), 24. 学費収入 (Tuition Income), 25. 学費収入 (Tuition Income), 26. 学費収入 (Tuition Income), 27. 学費収入 (Tuition Income), 28. 学費収入 (Tuition Income), 29. 学費収入 (Tuition Income), 30. 学費収入 (Tuition Income), 31. 学費収入 (Tuition Income), 32. 学費収入 (Tuition Income), 33. 学費収入 (Tuition Income), 34. 学費収入 (Tuition Income), 35. 学費収入 (Tuition Income), 36. 学費収入 (Tuition Income), 37. 学費収入 (Tuition Income), 38. 学費収入 (Tuition Income), 39. 学費収入 (Tuition Income), 40. 学費収入 (Tuition Income), 41. 学費収入 (Tuition Income), 42. 学費収入 (Tuition Income), 43. 学費収入 (Tuition Income), 44. 学費収入 (Tuition Income), 45. 学費収入 (Tuition Income), 46. 学費収入 (Tuition Income), 47. 学費収入 (Tuition Income), 48. 学費収入 (Tuition Income), 49. 学費収入 (Tuition Income), 50. 学費収入 (Tuition Income), 51. 学費収入 (Tuition Income), 52. 学費収入 (Tuition Income), 53. 学費収入 (Tuition Income), 54. 学費収入 (Tuition Income), 55. 学費収入 (Tuition Income), 56. 学費収入 (Tuition Income), 57. 学費収入 (Tuition Income), 58. 学費収入 (Tuition Income), 59. 学費収入 (Tuition Income), 60. 学費収入 (Tuition Income), 61. 学費収入 (Tuition Income), 62. 学費収入 (Tuition Income), 63. 学費収入 (Tuition Income), 64. 学費収入 (Tuition Income), 65. 学費収入 (Tuition Income), 66. 学費収入 (Tuition Income), 67. 学費収入 (Tuition Income), 68. 学費収入 (Tuition Income), 69. 学費収入 (Tuition Income), 70. 学費収入 (Tuition Income), 71. 学費収入 (Tuition Income), 72. 学費収入 (Tuition Income), 73. 学費収入 (Tuition Income), 74. 学費収入 (Tuition Income), 75. 学費収入 (Tuition Income), 76. 学費収入 (Tuition Income), 77. 学費収入 (Tuition Income), 78. 学費収入 (Tuition Income), 79. 学費収入 (Tuition Income), 80. 学費収入 (Tuition Income), 81. 学費収入 (Tuition Income), 82. 学費収入 (Tuition Income), 83. 学費収入 (Tuition Income), 84. 学費収入 (Tuition Income), 85. 学費収入 (Tuition Income).

II 貸借対照表

令和2年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	294,454	813	293,641
預 金	233,326,124	207,891,137	25,434,987
未 収 会 費	5,660,324	11,481,200	△ 5,820,876
前 払 金	7,000,100	10,500,000	△ 3,499,900
流動資産合計	246,281,002	229,873,150	16,407,852
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
① 退職積立資産	18,162,330	15,643,600	2,518,730
② 国際関係費積立資産	18,302,589	18,302,589	0
③ 書籍刊行積立資産	7,401,501	7,401,501	0
④ 研究助成積立資産	27,322,034	27,322,034	0
⑤ 設備積立資産	17,098,175	17,098,175	0
⑥ 整備積立資産	5,500,882	5,500,882	0
⑦ 事務所費用積立資産	5,451,926	5,451,926	0
⑧ 支部・地方会積立資産	24,624,969	25,576,720	△ 951,751
特定資産合計	123,864,406	122,297,427	1,566,979
(3) その他固定資産			
① 建物附属設備	6	8,922	△ 8,916
② 什器備品	1,217,023	35,417	1,181,606
③ ソフトウェア	289,575	0	289,575
④ 電話加入権	216,000	216,000	0
⑤ 保証金	6,357,000	6,357,000	0
その他固定資産合計	8,079,604	6,617,339	1,462,265
固定資産合計	151,944,010	148,914,766	3,029,244
資産合計	398,225,012	378,787,916	19,437,096
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	29,169	1,615,570	△ 1,586,401
前受会費	1,524,000	1,704,000	△ 180,000
預り金	503,802	313,186	190,616
仮受金	80,500	0	80,500
流動負債合計	2,137,471	3,632,756	△ 1,495,285
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,162,330	15,643,600	2,518,730
固定負債合計	18,162,330	15,643,600	2,518,730
負債合計	20,299,801	19,276,356	1,023,445
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	357,925,211	339,511,560	18,413,651
(うち特定財産への充当額)	(105,702,076)	(106,653,827)	(△ 951,751)
正味財産合計	377,925,211	359,511,560	18,413,651
負債及び正味財産合計	398,225,012	378,787,916	19,437,096

IV 財産目録

令和2年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
1) 現金	294,454	
2) 普通預金	154,218,492	
みずほ銀行本都支店	3,585,045	
〃	10,068	
三菱UFJ銀行春日町支店	114,367	
普通預金	157,923,472	
郵便振替	28,100,441	
〃	34,699,212	
郵便振替計	62,799,653	
4) 定期預金	2,598,499	
三菱UFJ銀行春日町支店	10,000,000	
本定期預金計	12,598,499	
5) 未収会費	4,180,000	
広告知揚会費等	1,480,324	
未収会費計	5,660,324	
6) 前借		
教養事業運営費	7,000,100	
総会運営費62・63回	7,000,100	
流動資産合計	246,281,002	
2. 固定資産		
1) 基本財産		
定期預金	20,000,000	
みずほ銀行本都支店	20,000,000	
基本財産計	20,000,000	
2) 特定資産		
(1) 退職積立資産		
みずほ銀行本都支店	3,786,217	
〃	14,376,113	
みずほ銀行本都支店	18,302,589	
書籍刊行積立資産	7,401,501	
研究助成積立資産	27,322,034	
設備積立資産	17,098,175	
整備積立資産	5,500,882	
事務所費用積立資産	5,451,926	
支部・地方会積立資産	24,624,969	
特定資産計	123,864,406	
3) その他固定資産		
(1) 建物附属設備	6	
トリア・フラインド他2点	6	
(2) 什器備品	1,217,023	
収納庫他5点	1,217,023	
(3) ソフトウェア	289,575	
預金口座オプション導入	289,575	
(4) 電話加入権	216,000	
0303814-8104 他2本	216,000	
(5) 保証金	6,357,000	
吉林ビル702号	6,357,000	
その他固定資産計	8,079,604	
固定資産合計	151,944,010	
資産合計	398,225,012	
II 負債の部		
1. 流動負債		
1) 未払金	29,169	
旅費交通費(管理)	3,000	
振込手数料(管理)	26,169	
未払金計	29,169	
2) 前受会費	1,524,000	
前受会費計	1,524,000	
3) 預り金	421,102	
源泉所得税預り金	82,700	
住民税預り金	503,802	
4) 仮受金	80,500	
講演料・旅費	80,500	
仮受金計	80,500	
流動負債合計	2,137,471	
2. 固定負債		
1) 退職給付引当金	18,162,330	
負債合計	20,299,801	
正味財産	377,925,211	

財務諸表に対する注記

令和2年6月8日

一般社団法人日本老年医学会
理事長 秋下 雅弘 殿

一般社団法人日本老年医学会

監事 会田 薫子

監事 安藤 富士子

監事 磯井 寿

監査報告書

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び器具備品…定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	15,643,600	2,518,730		18,162,330
国際関係費積立資産	18,302,589		0	18,302,589
書籍刊行積立資産	7,401,501		0	7,401,501
研究助成積立資産	27,322,034		0	27,322,034
施設積立資産	17,098,175		0	17,098,175
整備積立資産	5,500,882		0	5,500,882
事務所費用積立資産	5,451,926		0	5,451,926
支部・地方会積立資産	25,576,720	17,316,214	18,267,965	24,624,969
小計	122,297,427	19,834,944	18,267,965	123,864,406
合計	142,297,427	19,834,944	18,267,965	143,864,406

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
小計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	18,162,330	(0)		(18,162,330)
国際関係費積立資産	18,302,589	(0)	(18,302,589)	—
書籍刊行積立資産	7,401,501	(0)	(7,401,501)	—
研究助成積立資産	27,322,034	(0)	(27,322,034)	—
施設積立資産	17,098,175	(0)	(17,098,175)	—
整備積立資産	5,500,882	(0)	(5,500,882)	—
事務所費用積立資産	5,451,926	(0)	(5,451,926)	—
支部・地方会積立資産	24,624,969	(0)	(24,624,969)	—
小計	123,864,406	(0)	(105,702,076)	(18,162,330)
合計	143,864,406	(20,000,000)	(105,702,076)	(18,162,330)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,561,713	2,561,707	6
器具備品	7,038,393	5,821,370	1,217,023
ソフトウェア	315,900	26,325	289,575
合計	9,916,006	8,409,402	1,506,604

令和2年度事業計画

1. 学術集会等の開催(定款第6条1項)

1) 日本老年医学会年次学術集会

第62回日本老年医学会学術集会

会期:2020年6月3日(水)～5日(金)

2020年8月4日(火)～6日(木)に変更となった。

会長:羽生春夫(東京医科大学 高齢総合医学分野 教授)

会場:京王プラザホテル

学会テーマ:「健康長寿社会の実現に向けた老年医学の役割」

招請講演:開催中止

特別講演1:新型コロナウイルス感染症で学ぶべきこと

一來たるべき第2波に備えてー

松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

特別講演2:認知症施策推進大綱を老年医学の実践に生かす

鳥羽研二(東京都健康長寿医療センター)

特別講演3:超高齢社会における「健康寿命の延伸」の意味を考える

鈴木隆雄(桜美林大学 老年学総合研究所)

尼子賞記念講演:尼子賞受賞に際して

井藤英喜(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター)

会長講演:私の老年医学

羽生春夫(東京医科大学 高齢総合医学分野 教授)

教育講演1:嚥下障害のマネージメント

藤谷順子(国立国際医療研究センター リハビリテーション科)

教育講演2:骨折・骨粗鬆症・フレイル

浦野友彦(国際医療福祉大学医学部老年病学)

教育講演3:大規模災害における高齢者医療

沖永壯治(東北大学加齢医学研究所 老年医学分野)

教育講演4:軽度腎機能低下への対応

菅野義彦(東京医科大学 腎臓内科学分野)

教育講演5:無症候性心房細動をどう扱うか?

里見和浩(東京医科大学病院 不整脈センター)

教育講演6:高齢者に多い皮膚疾患

梅林芳弘(東京医科大学八王子医療センター 皮膚科)

教育講演7:認知症の鑑別疾患

清水聡一郎(東京医科大学 高齢総合医学分野)

教育講演8:認知症のBPSDに対する対応

水上勝義(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

教育講演9:高齢者の消化管内視鏡病変

河合隆(東京医科大学 消化器内視鏡学)

教育講演10:高齢初発てんかん

渡辺雅子(新宿神経クリニック)

教育講演11:高齢者の栄養管理

梅垣宏行(名古屋大学大学院 医学系研究科 地域在宅医療学 老年科学)

教育講演12:高齢者のポリファーマシー

小島太郎(東京大学大学院医学研究科老年病学)

教育講演13:高齢者うつ病の診断と治療

井上猛(東京医科大学 精神医学分野)

教育講演14:高齢者のリハビリテーション:Hospital-Associated Disability (HAD)と認知機能の視点から

金丸晶子(東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科)

教育講演15:症例から考える高齢者の排尿ケア

堀江重郎(順天堂大学大学院 泌尿器外科学講座)

教育講演16:高齢者に多い脊椎疾患と慢性疼痛対策における展望

酒井義人(国立長寿医療研究センター 整形外科)

教育講演17:高齢者大腸がん患者に対する腹腔鏡・ロボット手術

石原聡一郎(東京大学 腫瘍外科)

教育講演18:高齢者の口を支える新たな概念:オーラルフレイル

平野浩彦(東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科/口腔保健と栄養研究チーム)

教育講演19:高齢者の在宅医療

平原佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所)

教育講演20:高齢者の睡眠障害の病態・診断と治療

井上雄一(東京医科大学睡眠学講座/睡眠総合ケアクリニック代々木)

ガイドライン特別企画1:高齢者のポリファーマシー対策のガイドライン

大庭建三(川口さくらクリニック)

ガイドライン特別企画2:高齢者糖尿病診療ガイドラインの課題と展望

矢部大介(岐阜大学大学院医学系研究科 内分泌代謝病態学)

ガイドライン特別企画3:高齢者のがん薬物療法ガイドライン

小川純人(東京大学大学院医学系研究科老年病学)

ガイドライン特別企画4:高齢者高血圧診療ガイドラインを臨床に活かす

島本和明(日本医療大学)

ガイドライン特別企画5:認知症疾患診療ガイドライン2017をめぐる

下濱 俊(札幌医科大学医学部 神経内科学講座)

ガイドライン特別企画6:サルコペニア診断の新基準:AWGS 2019

秋下雅弘(東京大学大学院医学系研究科老年病学)

ガイドライン特別企画7:脂質異常症ガイドライン

横出正之(京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター)

Japan-Korea-Taiwan Joint Symposium

: Multimorbidities and polypharmacy: Role of geriatrician

座長: 荒井秀典(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)

Hak Chul Jang (Seoul National University Bundang Hospital 1)

Long-Teng Lee (President, Taiwan Association of Gerontology and

Geriatrics Superintendent, Taipei Jen-Chi Hospital, Taiwan/Department

of Family Medicine, National Taiwan University Hospital, Taiwan)

緊急シンポジウム:

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)下における高齢者医療への対応

座長: 樂木宏実(大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学)

神崎恒一(杏林大学医学部 高齢医学)

シンポジウム1:フレイル、サルコペニア研究の最前線

座長: 荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

藤原佳典(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム)

シンポジウム2:高齢者脳卒中の予防と治療

座長: 北川一夫(東京女子医科大学 脳神経内科)

平野照之(杏林大学医学部 脳卒中医学)

シンポジウム3:老化研究の進歩:AMED 老化研究拠点からの発信

座長: 樂木宏実(大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学)
横手幸太郎(千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学)

シンポジウム 4: 認知症と共生する社会へ向けて
座長: 武地一(藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科)
櫻井博文(東京医科大学高齢総合医学分野、東京医科大学病院 総合相談・支援センター)

シンポジウム 5: 高齢者の嚥下機能低下と栄養不良の相互関係
座長: 海老原 覚(東邦大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座)
葛谷雅文(名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻発育・加齢医学講座(地域在宅医療学・老年科学))

シンポジウム 6: 健康寿命延伸に向けた骨粗鬆症検診の現状と展望(骨折転倒予防対策小委員会企画)
座長: 石橋英明(伊奈病(院) 整形外科)
千葉優子(東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科)

シンポジウム 7: 認知症研究の最前線
座長: 下濱俊(札幌医科大学医学部 神経内科学講座)
荒井啓行(東北大学加齢医学研究所)

シンポジウム 8: 在宅医療連合学会大会合同シンポジウム(在宅医療小委員会企画)
実地臨床における「高齢者の在宅医療・介護サービスがトラン 2019」の活用と今後の課題
座長: 葛谷雅文(名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻発育・加齢医学講座(地域在宅医療学・老年科学))
山中崇(東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座)

シンポジウム 9: 非がん疾患における延命医療の差し控えと終了(倫理委員会企画)
座長: 会田薫子(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座)
清水哲郎(岩手保健医療大学)

シンポジウム 10: フレイル予防への多面的アプローチ
座長: 神崎恒一(杏林大学医学部高齢医学)
飯島勝矢(東京大学 高齢社会総合研究機構)

シンポジウム 11: 日本基礎老化学会合同シンポジウム(国内交流委員会企画)
エイジングサイエンスフォーラム～最新老化研究から新しい健康概念へ
座長: 新村健(兵庫医科大学 内科学 総合診療科)
柳井修一(東京都健康長寿医療センター研究所)

シンポジウム 12: 百寿者研究はどこから来て、どこへ行くのか
座長: 広瀬信義(報徳会宇都宮病院)
権藤恭之(大阪大学人間科学研究科/人間科学部)

シンポジウム 13: 高齢者の自動車運転の適格基準の検討(認知症対策小委員会企画)
座長: 島田裕之(国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター)
三村将(慶應義塾大学医学部 精神・神経科教室)

シンポジウム 14: 高齢者における心不全
座長: 大石充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

近森大志郎(東京医科大学 循環器内科学分野)

シンポジウム 15: 高齢者の救急医療
座長: 新村健(兵庫医科大学 内科学 総合診療科)
岩田充永(藤田医科大学 救急総合内科学)

シンポジウム 16: 老年医学教育の現状と今後の展望
座長: 金子英司(東京医科歯科大学 統合教育機構)
江頭正人(東京大学 医学教育学部門)

第3回日本老年医学会老化および老年医学研究助成受賞者講演
座長: 阿古潤哉(北里大学医学部 循環器内科学教室)
岩切理歌(東京都健康長寿医療センター高齢診療科)

- 田村 嘉章(東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科)
「高齢者サルコペニアの成因における脳白質統合異常と新規バイオマーカー MuSK、GDF15 の関与—筋肉・脳連関の解明—」
- 山本 浩一(大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学)
「トリプトファン代謝による老化制御機構を解明するトランスレショナルリサーチ」
- 渡邊 健太郎(日本大学医学部内科学系 糖尿病・代謝内科学分野)
「血管石灰化と動脈硬化、心血管病発症リスクとの関連」

第2回日本老年医学会 YIA 受賞者講演
座長: 武地一(藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科)
新村健(兵庫医科大学内科学 総合診療科)

認知症診療の実践セミナー
漢方 Geriatric レクチャー
プレス発表: 日本老年医学会
一般演題: 292 題

2) 地方会

第31回日本老年医学会 北海道 地方会
第72回日本老年医学会 関東甲信越 地方会
第31回日本老年医学会 東北 地方会
第31回日本老年医学会 東海 地方会
第31回日本老年医学会 近畿 地方会
第31回日本老年医学会 北陸 地方会
第32回日本老年医学会 中国 地方会
第32回日本老年医学会 四国 地方会
第31回日本老年医学会 九州 地方会
第73回日本老年医学会 関東甲信越 地方会

3) 第14回老年医学サマナー(定款第6条7項)
主催: 国立長寿医療研究センター、日本老年医学会
会期: 2020年8月28日～8月29日(1泊2日)
開催地: 国立長寿医療研究センター
対象: 医学部に在籍する学生、初期研修医対象、学会から交通費を助成する。
目的: 老年医学の最前線を学ぶ

4) 高齢者医療研修会(定款第6条7項)
座学形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。
ワークショップ形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。
2020年6月4日～6月5日(東京)、2020年10月31日～11月1日(全日病との共催: 東京)

5) 老人保健施設管理医師総合診療研修会(定款第6条7項)
共催: 日本老年医学会、全国老人保健施設協会

協力:国立長寿医療研究センター

第Ⅰ期:2020年4月25日～4月26日、第Ⅱ期:2019年10月3日～4日

対象:老健施設等に勤務する医師

開催地:東京、大阪

6) 高齢者栄養療法研修会(定款第6条7項)

第7回:2020年5月30日～31日(名古屋)、

第8回:2020年12月12日～13日(東京)

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)

和文誌「日本老年医学会雑誌」

1) 定期号 第57巻2号～4号及び第58巻1号

合計4冊発行 予定

2) Supplement 第62回学術集会講演抄録集として第57巻の

Supplementを7月に発行予定

英文誌「Geriatrics & Gerontology International」

月刊誌としてオンラインで年12回発行予定

3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定

(定款第6条3項)

1) 老年病専門医の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第29回専門医試験を2020年10月に東京都千代田区において実施する予定であったが、新型コロナウイルス症蔓延の影響により10月の実施は中止とし、年度内の実施に関しては新型コロナウイルスの状況次第とする。受験には日本老年医学会認定 老年病専門医制度に規定する研修カリキュラムに従った老年病学臨床研修を要する。試験合格者を決定し認定する。

2) 指導医の認定

新・老年病専門医制度に対応した指導医の要件により提出された指導医申請書類の審査を実施し、認定する。

3) 教育施設の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される認定施設申請書類の審査を実施し、認定する。

4) 老年病専門研修プログラムの認定

整備基準、およびカリキュラムに基づき作成、提出される老年病専門研修プログラムの申請書類の審査を実施し、認定する。

5) 2021年3月31日において認定を受けた日から満5年を経る老年病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される書類の審査を実施し、更新を認定する。尚、新型コロナウイルス症の蔓延により専門医の更新に必要な単位を取得するための地方会、研修会が通常通りに開催できないという状況に鑑み、更新に必要な単位数に満たない専門医についてはその任期を2022年3月31日までとする。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

1) 日本老年医学会優秀論文賞

和文誌:日本老年医学会雑誌第57巻1号から4号(令和元年1月～令和2年10月発行)に掲載された論文の中から、優秀な論文を選考し、顕彰する。

2) GGI 優秀論文賞

英文誌:Geriatrics & Gerontology International Vol.20 Issue1 から Issue12 (2020年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、顕彰する。

3) 日本老年医学会老化および老年医学研究助成として応募の中から優秀な研究に対し助成を行う。

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

1)加盟学術団体である日本老年学会の運営を、日本老年社会科学

会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力する。

2)日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協力する。

6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

1) 各種委員会 (あり方委員会、あり方WG、財務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、ワクチン療法推進小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者がん診療小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、研修会企画小委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、EWTOPIA75 小委員会、高齢者糖尿病の治療向上のための合同委員会、DASC8 妥当性検証WG、高齢者の安全な薬物ガイドライン 2020 作成のためのWG、CGA ツール選定・最適化WG、教育委員会、専門医制度委員会、新専門医制度準備小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、専門医資格・施設認定小委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、倫理委員会、エントオブライフに関する小委員会、利益相反委員会、学術プログラム委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、広報委員会 選挙管理委員会、ダイバーシティ推進委員会、用語委員会、YIA選考委員会、老年症候群の観点から見た転倒予防とその限界に関する検討WG)を開催し本会の目的を達成するため種々の検討を行い活動する。

2) 市民公開シンポジウム

令和2年度学術集会カリキュラムおよび地方会カリキュラムの中で開催予定であったが、開催中止となった。

